



～ マレーシアにおける小売店最新情報 ～

激安の殿堂で知られる「ドン・キホーテ」の海外ブランド、「JONETZ by DON DON DONKI (情熱byドンドンドンキ)」のマレーシア2号店が2021年12月10日、首都クアラルンプール郊外のスランゴール州プタリンジャヤの商業施設「トロピカーナ・ガーデンズモール」内にオープンしました。

同店はモール内の2フロアを占め、店舗面積はアジア太平洋地域で最大の3,924平方メートル(マレーシア1号店の3倍)です。屋台コンセプトを導入し、屋台料理やスナックの他、ハラル(イスラムの戒律に則った)認証を受けた和牛や惣菜、和菓子など、日本の特産品が楽しめます。

今回は同店を取材し、店舗情報および日本産・北海道産食品の最新市場動向について調査しました。



1. JONETZ by DON DON DONKI概要

JONETZ by DON DON DONKIは、**ジャパンブランド・スペシャリティストア**をコンセプトに、シンガポールや香港などの環太平洋エリアにおいて多店舗展開を進めています。マレーシアでも2021年3月に1号店が、2021年12月に2号店がオープンし、2024年6月までにマレーシア国内で11店舗の開業を目指すとしており、日本の農畜水産物などを積極的に展開することで、海外における**ジャパンブランド商品**のさらなる認知向上と消費拡大に寄与する事を目指しています。

日本では「激安の殿堂」として知られていますが、海外の店舗では安売り店としてではなく、日本産商品に特化した**Made in Japan商品の専門店**としての位置付けとなり、店内で販売されている全ての商品が日本産です。商品の8割は食品・飲料ですが、日本のコスメ・調理器具・ペット用品や雑貨等も販売されています。また、他小売店では販売されていない商品も多数あり、一部他店より安い価格設定などの展開も魅力となっております。



2. JONETZ by DON DON DONKI特徴

① テーマは「日本グルメ旅！」

電車で日本を旅行しているような気分を味わってもらえるよう「日本グルメ旅」をテーマに、大阪のたこ焼きや北海道のいか焼きなどの日本各地の名物を、駅を模した屋台風の売場で提供しています(写真下)。また、その場で食べられるようにイートインスペースが店内に170席設置されている他、テナントとして日本のクレープ屋があり、買い物の合間に日本のスイーツを気軽に楽しめます。





② 果物コーナー「ふるふる」の導入

シンガポールのDON DON DONKIで初導入し、消費者から支持をされている果物コーナー「ふるふる」をマレーシア2号店にも導入。福岡県産や佐賀県産のいちごなどを展開し、専門知識を持つフルーツコンシェルジュが日本の新鮮な旬の果物の魅力を説明してくれるサービスが登場しました(写真上)。



③ ハラルコーナー

イスラム教徒も安心して買い物出来るよう、精肉は牛肉を専門に取り扱い、高品質な近江牛や飛騨のブランド和牛など、ハラル認証を受けた食肉処理施設で加工した和牛を種類豊富に取り揃える中、同店ではハラル認証を受けた食品の特設コーナー(写真中)が大きく設置されており、調味料やスイーツ、魚肉ソーセージなど、ハラル認証取得商品の種類も豊富で、地域的にマレー系客層にも訴求する工夫を図っております。

<マレーシア2号店で販売されているハラル認証取得商品一例>

| | 加工品 | 和牛 | 調味料 | 和菓子 |
|-------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 商品名 小売価格 | 魚肉ソーセージ MYR16.90(約440円)/60g x3本 | 近江牛ステーキ用 MYR78.00(約2,028円)/100g | めんつゆ MYR29.50(約767円)/200ml | クリーム大福 MYR15.90(約413円)/2個 |



3. 今後の販路開拓に向けて

マレーシア2号店には「北海道スープ」(写真下)「かにみそ」「刺身用ほたて(冷凍)」といった多くの北海道産食品が販売されており、消費者から好評を得ています。また、JONETZ by DON DON DONKIはマレーシア国内に今後2年以内に11店舗の開設を目指している事から、北海道産食品の販路として今後も大いに期待が出来ます。

商品のパッケージに北海道と表記する・北海道の地図を目立つように記載するなど、マレーシアで人気がある「北海道」ブランドを全面に押し出し、バイヤー(輸入卸売業者)の北海道産食品に対する購買意欲を刺激する工夫や商品PRが重要と思われれます。

【著者紹介】 ASIA INFONET (M) SDN. BHD. (<https://www.asiainfonet.com/japanese-food/>)

日本産食品のマレーシアへの輸出を希望される企業様へ商談のアレンジ及びテストマーケティングといったマレーシアでの食品業界への商流構築のサポートを行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

【発行者】一般財団法人さっぽろ産業振興財団 販路拡大支援部 URL:<https://sec.or.jp/hanro-kakudai/international/adviser/malaysia/>

マレーシアへの食品販路拡大に関する支援をご希望の方は、上記HPで詳細をご確認の上、利用申込書をお送りください。

※ この情報はアドバイザーの独自調査によるものです。当財団はこの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありませんのでご了承の上ご活用ください。